

豊中の未来を描こう！！

発行2014年12月

VOL. 98

気がつけば、
今年も
残り1か月。

豊中市議会議員
無所属・未来派

かんばんこういちろう

神原宏一郎の つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～



関心・期待感・信頼感を抱く政治へ

12月議会での個人質問予定

①プラスチック製容器包装の処理方法について～非効率、不採算、説得力のない施策は要らない～

豊中市では、ごみ減量とリサイクルを推進するという目的で、プラスチック製容器包装の分別収集し、日本容器包装リサイクル協会に拠出金を支払ってリサイクルしてもらっていますが、私は、プラスチック製容器包装の処理方法に大いに疑問を感じています。

【疑問1】現行の処理方法は非効率ではないか？

市民が手間をかけて分別排出したプラスチック製容器包装は、ごみ処理施設内で再び、作業員を雇用して手選別をしている。しかし、分別された全てのプラスチック製容器包装が再商品化されている訳ではない。

【疑問2】現行の処理方法は毎年大きな赤字収支(不採算事業)になっているのでは？

現状では、プラスチック製容器包装だけを収集、運搬する費用、手選別をする作業員の人件費、手選別作業をするために必要となる機械等の維持管理費、容器包装リサイクル協会に支払っている拠出金などなど多額の経費がかかっている。

【疑問3】市庁舎などの公共施設から出されるごみは分別していないのでは？

市民には、分別を指導しておきながら、市役所など公共施設で排出されるごみについては分別せず、プラスチック製容器包装は可燃ごみとして処理されており、全く説得力がない。

②学校給食の質の向上を目指して

～献立の作成方法に課題発見～

【課題1】給食の献立は栄養士が作成しているが、必ずしも実食している訳ではなく、児童が食べる給食と同条件のものを実食し、決定するべきでは？

【課題2】机上で献立を作成しているため、栄養バランスに配慮していると言いながら、日によって栄養摂取量に大きな差異が生じているのは何故？

【課題3】実際に給食を食べている児童や教員の意見が反映されるシステムがなく、栄養士が現状把握や問題意識をもつ仕組みが必要ではないか？

③学校図書館の管理について

～図書の実態が不明～

各小中学校には、毎年、図書購入費が予算計上されているが、各図書館の図書資料の購入・廃棄は誰が決定しているのか、蔵書管理はどのようにしているのか、全く実態が分からない。

税金が支出されている以上、各学校における図書資料の購入や廃棄の情報は明確にするとともに、所蔵している図書資料についてデータ管理が必要ではないか？



皆さまのご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

メールアドレス

young_spiritjp@yahoo.co.jp



◆ クリーンランド議会2013年度決算審議 ◆

私はごみの減量、環境負荷の軽減推進には賛成ですが、それらの実現のために費用対効果やリサイクルの実態などの合理的、現実的な価値観や情報を踏まえた施策展開が必要不可欠と考えています。今回、その視点をもってクリーンランド議会において質疑した内容の一部をご紹介します。

プラスチック製容器包装のリサイクルの実態は？

Q. ここ数年の資源化率の推移は？また、昨年度のプラスチック製容器包装の資源化率は？

A. 平成23年度以前は、30%程度だったが、スリーR・センターが稼働し、両市で新分別収集が開始された平成24年度では57.4%、25年度では58.6%。昨年度のプラスチック製容器包装の資源化率は83%。

Q. クリーンランドから日本容器リサイクル協会へ搬入したプラスチック製容器包装がどのような形で、どれくらい資源化されているのか？

A. 昨年度搬出したプラスチック製容器包装は、約7割がパレットや公園のベンチ、植木鉢などの材料に、残り約3割は燃料ガスとしてリサイクルされている。

(意見)

プラスチック製容器包装の収集・運搬コスト、スリーR・センターでの手選別作業員の人件費、日本容器リサイクル協会への拠出金や、一部は燃料ガスとして利用されている実態を考えると、クリーンランドでサーマルリサイクルした方が合理的なはず！！

事業系ごみ処理手数料の適正化を！！

Q. 事業系ごみのごみ処理施設使用料と実際に処理にかかる経費の差額は？

廃棄物処理法の排出者責任の考え方からすると、事業系ごみは、実際の処理経費相当額をごみ処理施設使用料として設定するべきではないのか？

A. 施設使用料は10kgあたり87円で、昨年度の焼却処理経費は10kgあたり102円。料金設定については、廃棄物処理法の排出者の自己処理責任の原則に基づき、処理経費に相当する額が適正であると考えている。そのため、平成28年度から稼働予定の新焼却施設における処理経費を基礎として、適正化を図っていく必要がある。

(意見)

昨年度の焼却処理経費と施設使用料は10kgあたり15円の差額が生じており、施設使用料を焼却処理経費相当額にすると、**約8400万円**の歳入増となり、市の歳出削減につながる。早急に適正化に向けて取り組むべき！！

リサイクル事業にも費用対効果の視点を！！

Q. 市民が分別排出したプラスチック製容器包装のリサイクル事業は、**毎年2億円**を超える赤字収支となっている。もし、容器包装プラスチックを製品プラスチック同様、可燃ごみとして処理し、熱回収し、売電した場合、どれくらいの収支差益になるか？

A. 可燃ごみとして全て焼却処理した場合、発電量が約120万kwh増加となり、売電の収益増加は**1700万円**程度と推測される。

Q. プラスチック製容器包装の可燃処理や売電収入を得ることに賛同のご意見を市民の方々から頂いている。プラスチック製容器包装の処理方法を大幅に見直し、熱回収による活用を図ることについての見解は？

A. クリーンランドでは、豊中市、伊丹市両市の施策に基づき、資源の循環利用の観点から、リサイクルプラザにおいて「プラスチック製容器包装類」の再生利用の促進を図った上で、なお残った雑多な廃プラスチックはごみ焼却施設で熱エネルギーとして有効に熱回収するとしている。

(意見)

実態に伴わない理想を語るのではなく、現実的な対応として、プラスチック製容器包装を焼却処理し、熱回収することで、市民の分別手間の軽減や経費の大幅な見直しを図るべき！！

豊中市議会 12月定例会の予定

◆本会議(初日) 11月27日(木) 午後1時から

◆各常任委員会 午前10時から

12月2日(火)～5日(金)

◆本会議(個人質問) 午前10時から

12月16日(火)、18日(木)、19日(金)

※変更する場合もございますので、議会事務局までご確認ください。(議会事務局議事課:TEL:06-6858-2633)



インターネット中継配信中！！
神原の個人質問は16日の予定
ぜひ、ご視聴下さい！！

発行元 前向きひろば ~Positive Square~

〒560-0021 豊中市本町 3-1-20 エルビル 2階

TEL & FAX: 06-6854-5664

平日(祝日は除く)の10時から17時はスタッフがおります。

young_spiritjp@yahoo.co.jp

http://www.geocities.jp/positive_square/

Facebook 活用しています！！

「つながり日記」毎日 HP で更新中！！

※ご希望の方には通信を無料でお届けします。お気軽にご連絡ください。

